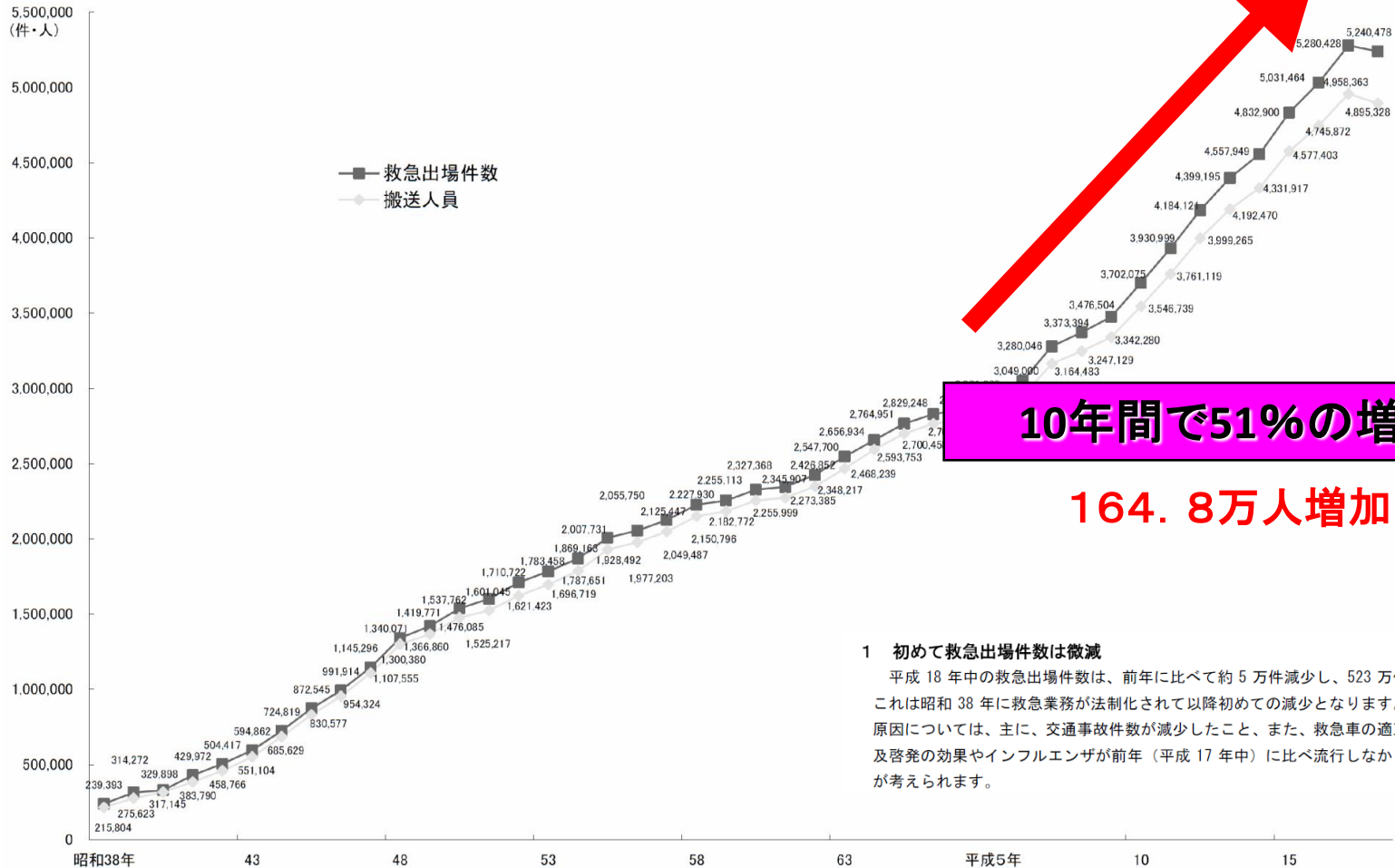


救急出動件数及び搬送人員の推移



10年間で51%の増加

164.8万人増加

1 初めて救急出場件数は微減
 平成18年中の救急出場件数は、前年に比べて約5万件減少し、523万件でした。これは昭和38年に救急業務が法制化されて以降初めての減少となります。減少した原因については、主に、交通事故件数が減少したこと、また、救急車の適正利用の普及啓発の効果やインフルエンザが前年(平成17年中)に比べ流行しなかったことが考えられます。

「救急・救助の現況」(総務省消防庁)

(注) 1 平成10年以降の救急出場件数及び搬送人員についてはヘリコプター出場分を含む。
 2 各年とも1月から12月までの数値である。